

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記4

国立市立国立第七小学校

平成28年6月23日 NO.25 (325)



暑くなりました。
みなさん、毎日あせが
でませんか。
今日は、あせについて
考えてみましょう。

花ちゃん 「オー君。このごろ暑くなりましたね。」

オー君 「そうですね。お日様はでないけど、梅雨はむしむし暑くてこまるね。」

モンタ博士 「絵のように、お日様が出ると、もっと暑くなるね。」

花ちゃん 「今日は、みんなで『あせ』について考えてみましょう。」

オー君 「あせは何のために出てくるのかな。あせが出ると、ハンカチでふかなければ
ならないし、とってもめんどろだな。あせはいやだな。」

モンタ博士 「あせは出てこないほうがいいかな。あせって、いったい何なんだろう。」

花ちゃん 「あせって、体の中の水分がひふの外まで出てきたものですね。」

モンタ博士 「そうだね。あせって、ぬれた体の表面がかわく時に、熱をうばってくれて、
それで、体の温度を下げってくれるものなんだ。」

オー君 「へえー。そうなんだ。ということは、あせって、出てくれたほうがいいもの
なんですね。体を守るためにあせをかくのですね。」

花ちゃん 「つまり、暑い時に、体の温度が高くなりすぎないように、熱をにがしてくれ
るということですね。そして、体の調子を整えてくれるものなんですね。」

モンタ博士「あせって、とても大切なものさ。

右の絵に汗腺（あせのもと）

というものがあるだろう。ここからあせが出てくるんだよ。」

オー君 「どんどんあせをかいたほうが

いいということですね。よーし！

あせをどんどんかくぞ。ところで、あせって、どうしてしょっぱいの。」

モンタ博士「いい質問だね。あせのほとんどは水だけど、少し塩が入っているんだ。

だから、あせをかいたら、水分といっしょに塩分（しお）もとろう。

そして、あせをかいたらそのままにしないで、ハンカチでちゃんと

ふくことが大切だね。だから、ハンカチは毎日持っているようにね。」

花ちゃん 「わかりました。これからも、毎日ハンカチ忘れないようにします。それにし

ても、人間の体って、とてもよくできているんですね。とてもいい勉強になり

ました。ところで、まったく関係ないかもしれませんが、『とりはだ』ってありますが、あれって、どうしてでるのですか。」

オー君 「とりはだって、なんだっけ。」

花ちゃん 「急に寒くなったりすると、ひふの表面がぶつぶつになるでしょ。あれよ。」

オー君 「あー！あれか。わかった。」

モンタ博士「これいい質問だね。とりはだというのは、毛をたてる筋肉が寒さのために縮ん

でしまって、毛の根本をもちあげるからできるんだよ。」

花ちゃん 「なるほど、そういうことですか。暑かったり、寒かったりするけど、人間の体

って、本当によくできているんですね。すごいですね。」

モンタ博士「そのとおりだ。これからも人間の体の不思議をいろいろと考えていこう。」

カバの汗は赤い

見たことはありませんが、ある本に書いてありましたが、カバの汗は赤いそうです。どんな汗なのか見てみたいものです。また、犬は汗をかく代わりに口を開けて舌を出して「ハアーハアー」と息をします。犬は、汗の代わりによだれを出しながら、熱を下げる工夫をしているのです。動物もいろいろな方法で暑さ対策をしているということですね。

モグラの動きの動画 UP しました。→<https://www.youtube.com/watch?v=CZgFCbocDpE>

